



文化・芸術研究センター研究成果報告書 | 配分研究費：2,770千円

産学官連携による観光人材育成と歴史文化資源を活用した地域の観光開発ー中国・甘肅省を事例に

目的・概要

この研究では、中国・甘肅省の観光産業を研究及び人材育成の二つの側面から支える西北師範大学でのヒアリング調査を通じて、産学官連携による実践型観光人材育成の方法と、歴史的・宗教的文化を観光資源として活用する仕組みを解明し、これらを本学文明観光学コースの運営に活かす可能性を模索する。

期間

令和3年4月1日～令和6年3月31日

研究担当者

文化政策学部 国際文化学科 教授 兪 嶸（研究代表者）
文化政策学部 国際文化学科 教授 青木 健

スケジュール

令和3年4月～令和4年3月

令和4年1月
令和4年4月～令和5年3月

令和4年9月

令和5年1月
令和5年11月

令和6年1月
令和6年3月

中国・甘肅省（蘭州市）西北師範大学・観光学院のヒアリング調査（中止）
文明観光学コース履修生向けのオンライン・リレー講義実施
中国・甘肅省（敦煌市）西北師範大学・敦煌学院のヒアリング調査（中止）
文明観光学コース履修生向けのオンライン・海外インターンシップ実施
文明観光学コース履修生向けのオンライン・リレー講義実施
文明観光学コース履修生向けのオンライン・海外インターンシップ実施
文明観光学コース履修生向けのオンライン・リレー講義実施
中国・甘肅省（蘭州市&敦煌市）西北師範大学にてヒアリング調査および講演
中国・上海市 上海社会科学院にて講演

研究成果

＜研究・学術交流＞

- ・上海社会科学院にて講演
「日本のインバウンド観光政策の変遷および訪日中国人観光客の行動」 兪 嶸
「Iran-China-Japanese Cultural Contact in Historical Context：歴史背景下的伊朗・中国・日本文化接触」 青木健
- ・西北師範大学敦煌学院にて講演
「日本と中国の観光政策の比較および訪日中国人観光客の消費動向：中日旅游政策的比較及近年来訪日中国游客的旅游消費行動」 兪 嶸
「Iran-China-Japanese Cultural Contact in Historical Context」 青木健
- ・『静岡文化芸術大学研究紀要』第25号に投稿予定「中華ハラール料理の可能性と中国のハラール認証」 兪 嶸 青木健

＜教育・人材育成＞

令和3年度から令和5年度まで、文明観光学コース指定の地域連携演習「ビジネスと文化から複眼的に国際観光を捉える@日中観光業界リモート演習」として、日中双方の観光業界のビジネスパーソンと歴史学者によるオンラインのリレー講義を3回実施した。

令和4年度から令和5年度まで、JTB台湾と連携し、文明観光学コース履修生向けのオンラインインターンシップを2回実施した。参加した学生は出された課題についてグループディスカッションと発表を行い、国際観光ビジネスへの理解を深めた。

今後の研究成果の還元方法

令和6年度は歴史的・宗教的文化資源の観光への応用について論文をまとめる予定である。中国の現地調査で得られた知見、特に観光学部の学生のイノベーション・起業に関する紹介は非常に興味深いものであり、来年度以降はさらに関連資料と情報を収集し、論文にまとめて広く社会に発信していくことを考えている。
また、海外企業と連携してオンラインインターンシップを実現できたが、海外渡航が可能になったため、今後は本学学生の海外インターンシップの実現に向けて企業と調整を行う予定である。